学校番号	２１６

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物 （文系・G 専）	単位数	２単位	年次	３年
使用教科書	高等学校　「生物」　Biology（啓林館）						
副教材等	ニューステージ生物図表（浜島書店）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の社会で生きる人間として、「自分の身体」と「他の生物群集も含めた地球環境」について正確な知識を持つことは必要事項です。「食事」「休養」「運動」を「身体の細胞に及ぼす影響」として認識することは、インターネットに溢れる「フェイクニュース（誤った情報）に惑わされない判断力を身につけるのにも役立ちます。教科書の項目を日常生活に結びつけ、生徒の「自分自身の健康」さらに、「地球環境の保全」への興味を喚起していきます。

2　学習の到達目標

（１）知識・技能 - 基本的な細胞の構造とさまざまに分化した細胞（感覚器官、神経、筋肉）、細胞の中の化学反応、植物の環境応答、生物の進化の歴史を理解し、細胞の中の化学反応について基礎知識を身に付ける。
（２）思考・判断・表現 - 身につけた知識を基に自然に対する好奇心や探求心を深め、表現できる。
（３）主体的に学習に取り組む態度 - 科学的な自然観を持ち、自ら進んで学習やレポートに取り組む態度を醸成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象についての理解を深め，そのために必要な知識を身に着けている。科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に損愛する問題について，見通しをもって観察，実験などを行い，実験・観察の意義について理解している。また、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わろうとする，疑問をもつ、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	**第2部 生命現象と物質**	第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質 第6章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼　吸 第2節 光合成	細胞小器官や細胞の働きとタンパク質の働きを理解している。 光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ，呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されるしくみを理解している。	定期考査	定期考査	・授業ノート ・問題集ノート ・実験、VTRプリント ・宿題への取り組み ・授業への取り組み （発表、質問など）
2学期	**第2部 生命現象と物質** **第3部 遺伝情報の発現と発生**	第7章 遺伝現象と物質 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節遺伝子の発現調節 第10章 刺激の受容と反応 第1節 刺激の受容 第2節 神　経 第3節 神経系 第4節 効果器 第11章　動物の行動 第1節　生得的行動 第2節　学習	DNAの構造,遺伝情報の複製･転写･翻訳のしくみ，そして遺伝子発現の調節について理解している。 外界の刺激を受容し，神経系を介して,反応するしくみを学び,刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解している。 神経系と関連づけられる動物の行動を主に扱うこととする。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解している。	定期考査	定期考査	・授業ノート ・問題集ノート ・VTRプリント ・宿題への取り組み ・授業への取り組み （発表、質問など）
3学期	**第5部 生態と環境**	第14章 生態系 第1節 生態系と物質生産 第2節 生態系と生物多様性	生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに，生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を認識できる。	定期考査	定期考査	・授業ノート ・問題集ノート ・実験、VTRプリント ・宿題への取り組み ・授業への取り組み （発表、質問など）

※　表中の観点について

a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度